

# 令和5年アユの遡上状況

資料3-1

(報告時点：令和5年5月初旬)

河川名 (組合名)	相模川 (相模川漁連)	酒匂川 (酒匂川漁協)	早川 (早川河川漁協)	千歳川 (湯河原観光漁協)	多摩川 (川崎河川漁協)
遡上開始の 時期と型	<ul style="list-style-type: none"> <li>相模大堰において、3月以前から遡上の兆候を確認</li> <li>寒川取水堰において2月20日から28日にかけて遡上の監視を行い、3月1日から遡上調査を開始。</li> <li>型は良好</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遡上開始時期は3月上旬ごろと思われるが、狩川花下橋下流堰堤で跳ねを確認したのは3月22日ごろ</li> <li>今年は少し遡上時期が遅いといわれていたが、昨年と変わらないように思える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遡上開始時期は2月22日に確認</li> <li>型は約5cm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遡上開始時期は4月で少し遅い</li> <li>型は平年よりやや大きめで5～10cm程度</li> <li>遡上量はやや多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遡上開始は3月8日で平年並み</li> <li>型は平年並み</li> </ul>
その後の経過  (量・型・特徴等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒川取水堰 3月1日～3月31日 5,791,904尾 4月1日～4月30日 15,287,376尾 5月1日～5月10日 413,225尾</li> <li>型は昨年と比べやや小さめ</li> <li>相模大堰 5月8日現在 8,722,764尾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月3日から行われた遡上調査では3,286尾の遡上数</li> <li>3月下旬ごろには狩川の花下橋堰堤下には真っ黒になるくらいの天然遡上の稚あゆが見られた。型は6～10cm程度</li> <li>4月1日には特別採捕により谷ヶ地区へ約8,300尾をくみ上げ放流(4月16日まで計5回、約26,000尾を谷ヶ地区へ放流)</li> <li>昨年度より遡上量は多いと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年より遡上量は少ない。</li> <li>型は2月の時点では小さい感じがしたが、3月に入って7～8cmに成長している鮎がいるようになった。4月後半になっても遡上が多くならない。</li> <li>早川河口で西湘バイパス橋脚の補強工事を行っている関係で遡上を阻害されている感じが見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4、5月ともに遡上量は昨年並み</li> <li>水温は14～15℃で低い</li> <li>体長は15cm程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月は雨が少なく遡上が少ない。</li> <li>4月は降雨の翌日から遡上数が増え、3月30日～4月5日までの間、連日、調査用の定置網に2,000尾を超える鮎が入った。型にはむらがあり5～10cm程度</li> </ul>
遡上量の 多い日の量 (1日当たり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒川取水堰 3月24日 1,694,520尾 3月30日 1,442,721尾 4月9、11日 各日84万尾 4月13日 3,185,414尾 4月14日 3,336,796尾</li> <li>相模大堰 4月10日 670,840尾 4月11日 691,440尾 4月14日 1,316,820尾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月3日 3,286尾</li> <li>4月7日 10,485尾</li> <li>4月13日 8,213尾</li> <li>4月14日 9,740尾</li> <li>4月18日 26,031尾</li> <li>4月21日 18,332尾</li> <li>5月11日 3,800尾</li> </ul> <p>※遡上数は、11時から17時までの間に、5分計測、10分休憩の繰り返しで調査。調査は計13回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1,000尾/時間</li> <li>全体的に遡上するサイズは小さめ</li> <li>カワウ、シラサギ、アオサギに捕食されており、鳥の数が年々多くなってきている。鳥害対策を行っているが、根本的な解決には至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遡上量未確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入網数 4月3日 7,313尾 4月14日 10,214尾 (翌日雨) 4月27日 4,603尾 (前日雨) 4月28日 4,864尾</li> </ul>

<p>昨年までの比較等</p>	<p>寒川取水堰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遡上数は大変多く確認</li> <li>・型は昨年と比較し、4月後半からはやや小さめ</li> <li>・5月10日の午前中には10cm超えの遡上を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に山北地区まで遡上しており、組合事務所前から下流250m辺りまでの護岸は食み跡が多くみられあゆも確認できている。</li> <li>・今年は腰越漁港で採捕された天然稚あゆの時期と採捕量が昨年より遅く、遡上も少ないと言われていたが、現状を見ると昨年度より遡上数が多いと思われる。</li> <li>・5月8日の大雨の降雨により丹沢湖が濁るとともに増水したので、漁場環境の回復には2週間程度かかると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月になっても遡上が多くならない。</li> <li>・令和3年10月から令和4年3月まで雨量が少なく、川は渇水状態だった。</li> <li>・今年も西湘バイパスの橋脚の補強工事により、遡上時期に河口で阻害されている日が多く発生している。</li> <li>・早川の源流である芦ノ湖からの水が平時に流れていないため水量が少ない。水量が少ないと魚の餌になるものも少ないため成長が悪い。芦ノ湖の水を早川に常時流す対策が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遡上量は昨年並み</li> <li>・水量は昨年並み</li> <li>・水温は昨年並み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様、雨が遡上を促進しており、雨の翌日から遡上が多くなる。</li> <li>・今年は雨が少ないので心配したが、例年並みの遡上状況</li> <li>・水温は昨年並み</li> </ul>
-----------------	--	--	---	---	--